

令和2年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和3年8月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料(総括表)	10
7	事業別実施状況調べ	12
8	予備費の充用調べ	19
9	繰越関係調べ	19
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	19
11	現金の取扱状況	19
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
12	財産に関する調べ	20
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	22
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	
14	借受不動産明細調べ	24
15	職員駐車場の管理状況調べ	24
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	24
17	備品の処分状況調べ	25
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	25
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	25
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	25

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

(3) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	341 現在	241 現在	341 現在	241 現在	341 現在	241 現在	341 現在	241 現在	
定員	17	17	()	()	()	()	17	17	社会教育課(11)、船上山 (3)、大山(3)
現員	(6) 24	(6) 24	()	()	()	()	(6) 24	(6) 24	派遣研修専門指導員 受入(6) (船上山、大山各3、うち 各1は4月～9月のみ配置 (R3の派遣元： 米子市1、倉吉市2、境港市1、 八頭町0.5、大山町0.5)
過剰△	7	7					7	7	派遣研修専門指導員 受入(6)、社会教育課過 員(1)
臨時的 任用職員	0	0					0	0	
会計年度 任用職員	1	1					1	1	広報専門員(1)

4 役付職員の調べ

(令和3年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間 年	備考
課長	西尾 麻都子	5月	
課長補佐	(併) 白岩 準市	1	環境立県推進課星空環境推進室課長補佐
課長補佐	(併)(兼) 檜垣 英司	1	(併) 福祉保健課くらし応援対策室課長補佐
船上山少年自然の家所長	桑本 康昭	2	(兼) 小中学校課課長補佐
大山青年の家所長	瀬尾 徹治	5	

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			一般財源
		国庫支出金	起債	その他	
インターネットとの適切な接し方教育 啓発推進事業	3,639				3,639
将来ビジョン	-				
令和新时代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (2) 人材とっとり ①未来を拓く人づくり				
政策項目	-				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
インターネット環境の急速な発達により、スマートフォン・ゲーム機・携帯音楽プレーヤー等の電子メディア機器が子どもたちの生活の中に浸透し、利用の低年齢化も進んでいることから、保護者や子どもたちに対し、電子メディア機器とのよりよい接し方(※)について教育・啓発を行う。 *よりよい接し方…トラブルや犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることのないよう、インターネットの特性を理解し、モラルやマナー等を考えて電子メディア機器を使用する。					
(イ) 事業の実施状況					
区分	内容				
鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会事業 (委託先：鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会)	<p>① 協議会の開催 電子メディア機器との関わり方やインターネット・スマートフォン利用の教育啓発推進の方向性や施策について検討した。 ※新型コロナウイルスの影響により書面開催(6月、9月)</p> <p>② 「とっとり子どもサミット～電子メディアとのより良い付き合い方編～」の開催 県内の小・中・高校生及び保護者が、子どもと大人に分かれ、インターネットとの適切な付き合い方について話し合うワークショップを実施した。 ※東・中・西部の各地区で開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中部地区のみで開催 ・開催日 令和2年10月18日(日) ・会場 伯耆しあわせの郷 ・参加人数 小学生5名、中学生5名、保護者6名、計16名</p> <p>③ 「とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム」のDVD配布 新型コロナウイルスの影響により対面型のフォーラムの開催を中止し、代替としてDVDを作成した。 作成部数：200部 配布先：県内全小・中・義務教育学校(各校1枚ずつ配布) 収録内容： ・とっとり子どもサミット参加児童生徒による発表 ・子どもをSNSトラブルから守るための合言葉・標語コンクール大賞作品 「とりのからあげ」発表 鳥取市立浜村小学校6年 チーム”ホット” ・実践事例発表 米子市立福米東小学校PTA ・講演「ネット依存の実態と対策」 鳥取大学医学部助教 尾崎 米厚 氏</p> <p>④ 「電子メディアとの付き合い方学習シート」の作成・配付 学習シート(シート)を作成し、子どもたちが主体的に電子メディア機器の使い方</p>				

	<p>を振り返ったり、家庭で話し合っテルールを決めたりする契機とともに、学校における情報ワヾル教育の充実を図つた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付先：県内小学生～高校生 ・作成部数：71, 500部 <table border="1" data-bbox="1825 646 1944 1316"> <tr> <td>内訳</td> <td>学習ノートA (小1～小3対象)</td> <td>18, 000部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学習ノートB (小4～小6対象)</td> <td>18, 000部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学習シート (中・高校生対象)</td> <td>35, 500部</td> </tr> </table> <p>※その他、大規模商業施設での啓発活動を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止とした。</p>	内訳	学習ノートA (小1～小3対象)	18, 000部		学習ノートB (小4～小6対象)	18, 000部		学習シート (中・高校生対象)	35, 500部
内訳	学習ノートA (小1～小3対象)	18, 000部								
	学習ノートB (小4～小6対象)	18, 000部								
	学習シート (中・高校生対象)	35, 500部								
<p>ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業 (委託先：NPO法人こども未来ネットワーク)</p>	<p>① 鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員派遣 ア P T Aや地域等で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を講師として派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進員：26人 (令和2年度末) ・派遣実績：84件 <p>(保育園・幼稚園 8件、小学校44件、中学校11件、高等学校4件、特別支援学校 5件、地域12件)</p> <p>イ 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により派遣申込み減少したことから、「アボホ世代の子育て」をテーマにした5本の動画を作成し、公開するとともに、DVDの貸出を行った。</p> <p>(配信内容)</p> <p>タイトル「アボホ世代の子育て」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 0～3歳児編 ② 4～6歳児編 ③ 「ちよつとだけ。」と手渡す前に (アケセスガイド (※1) の紹介) ④ 「大丈夫！」と与える前に (スクリーンタイム (※2) の紹介) ⑤ 「依存かな？」と思ったら <p>※1 一時的に一つのアプリしか使用できなくするiPhoneの設定</p> <p>※2 iPhoneの使用時間の表示および制限ができる機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ② 乳幼児保護者向けチラシの作成・配布 <p>電子メディア機器利用の低年齢化が進んでいることから、チラシを作成・配布し、乳幼児期における電子メディア機器の適切な利用について啓発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付先：県内の幼稚園・保育所・認定こども園等 ・作成部数：26, 000部 									
<p>鳥取県インターネット問題予防対策事業</p>	<p>ネット依存や人間関係のトラブルといったインターネットの利用に伴う問題の発生を学校全体で予防するため、情報ワヾル教育について専門的知識を有する者を県内の学校に派遣し、児童・生徒を対象とした啓発授業と併せて教職員研修を行い、学校における情報ワヾル教育と教員の指導力の向上を図つた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣実績：34校 (小学校15校、中学校7校、義務教育学校1校、高等学校9校、特別支援学校2校) 									

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・情報ワヾル教育の充実

電子メディアとの付き合い方学習ノート (シート) では、インターネット上で知り合つた人と会うこと、動画投稿サイトへの不適切な投稿、ゲーム利用の時間と約束といった、児童生徒がトラブルに陥りやすい具体例を取り上げること、学校における情報ワヾル教育の更なる充実を図るとともに、家庭での話合いの契機とした。

・新型コロナウイルス感染症への対応

【緊急事態宣言を受けた休校等への対応】

児童生徒の家庭におけるテレビ・ゲーム・スマートフォン等の利用機会の増加が懸念されたことから、啓発チラシ「今電子メディアとの付き合い方で特に気をつけてほしいこと」を作成し、児童生徒への配布を行った。

【オンライン講演会、動画配信】

集合形式での研修等の開催が困難となり、ケータイ・インターネット教育推進員の派遣申込が減少したことから、オンラインでの講演会を実施するとともに、「スズメ世の子育て」をテーマにした5本の動画を作成し配信した。

【DVD貸与】

鳥取県インターネット問題予防対策事業では、本来派遣先の体育館などで行う講師の授業を収録したDVDを作成し貸与することで、各教室における視聴が可能となり、密にならない研修を実現した。

ウ 成果及び効果

- ・とっとり子どもサミットを開催し、子どもたちが自ら電子メディア機器の使用に関するルールを作成するとともに、作成したルールを大人と共有し理解を深めることができた。また、その内容等を収録したDVDを全小中学校に配布し、県内全域に電子メディア機器のより良い使い方を啓発することができた。
- ・ケータイ・インターネット教育推進員の研修を学校等の要望に応じてオンラインで配信したり、動画を作成してDVDの貸出を行い、いつでも学べる環境を提供することで、子どものケータイ・インターネットの適切な使い方についてさらに啓発することができた。
- ・情報モラル教育について専門的知識を有する者を学校へ派遣し、児童・生徒を対象とした啓発事業と併せて教員研修を行って、インターネットの過剰利用等の問題を学校全体で予防することができた。

エ 課題

- ・令和3年度からGIGAスクール構想により、小中学生は1人1台のタブレットを使用した学習が始まり、児童生徒にとってインターネットがより身近になったことから、学校だけでなく家庭に対しても、さらに情報モラルについて啓発していく必要がある。
- ・PTA、警察、NPO法人、報道機関、知事部局（子育て・人材局）等、引き続き関係機関と連携しながら、急速に進化するインターネット環境に対応した情報モラルの啓発を行う必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
本の大好きな子どもを育てるプロジェクト	867				867
将来ビジョン	—				
令和新时代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (2) 人材とつとり ①未来を拓く人づくり				
政策項目	—				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

子どもたちがより効果的に図書との関わりを持ったための取組として、子ども読書アトバイザーの派遣や児童・生徒の読書推進の啓発など、子どもの読書活動を推進するための事業を展開する。

(イ) 事業の実施状況

区分	内容
子ども読書アトバイザー派遣事業	子ども読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アトバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。 ・派遣件数：11件 (読み聞かせボランティア、保護者、子育て支援者等への研修6件主に生徒への研修5件) ・アトバイザー：38人 (令和2年度末)
機関紙の発行 (子ども読書アトバイザー一研修会の代替)	新型コロナウイルスの影響により子ども読書アトバイザー等を対象とした研修会の実施が困難となったため、代替として機関紙「とっとり読み聞かせ通信」を発行した。 寄稿：東京子ども図書館 名誉館長 松岡 享子氏 発行部数：2,600部 配布先：鳥取県子ども読書アトバイザー、県内の読み聞かせボランティア
中学生ポツコンテスト	読書敵の寝顔になる中学生に本を読み機会、読書の意義を他者に伝える体験を提供するため、中学生ポツコンテストを実施した。 ・共催：鳥取県書店商業組合、鳥取県図書館協会 ・募集期間：令和2年8月3日～9月30日 ・応募作品総数：1,684点 ・優秀賞：30点(うち、5点は鳥取県書店商業組合が選定する特別賞を受賞) 優秀賞受賞作は書店で展示したほか、店頭における販売促進ポスターとして活用した。
読書振興キャラクター「読書トリピー」を活用した読書啓発事業 (読書啓発イベントの代替)	新型コロナウイルスの影響により啓発イベントの実施が困難となったことから、子どもの心豊かな成長を促す読書活動の推進を図ることを目的に非対面型の啓発事業を実施した。 ・実施時期 令和2年11月～2月 ・対象 鳥取県内の保育園・幼稚園・認定こども園の園児等 協力園・園児数：38園・1783名 ・内容 親子で「読書トリピー」の塗り絵(缶バッジに加工して園児に返却) 「好きな本」のアンケート 子ども読書アトバイザーが選んだ絵本を協力園へ提供 ・その他 「地域ぐるみで『体験の風をおこそう』運動推進事業」(国立青少年教育振興機構)を活用して実施
ピリオバトル実施支援事業	新型コロナウイルスの影響により派遣できる指導者の確保が困難となり、実施できなかった。

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・中学生が関心を持つよう、ポップコンテナスの優秀作品の書店展示を県内今井書店全店に拡充し（R1：2店舗→R2：8店舗）、実際に販売促進ポップとして活用した。
- ・新型コロナウイルスの影響により対面イベント等の開催が中止となったが、代替事業を実施しコロナ禍においても子どもの読書活動推進を継続した。

ウ 成果及び効果

- ・中学生ポップコンテナスは書店等と連携しながら実施し、応募点数が大幅に増加したことから、中学生が本に親しむきっかけとなったことがうかがえる。（応募数…R1：1, 024件→R2：1, 684点）
- ・新型コロナウイルスの影響により中止となった啓発イベントの代替として実施した「子どもたちの好きな本」アンケートの結果（鳥取県の子どもの好きな本ベスト20）を活用し、県内書店での絵本フェア開催や県立図書館でのコーナー設置を行い（令和3年5月）、関係機関と連携して幼児期における読書活動の推進につながった。また、新聞・テレビでアンケート結果が紹介されより多くの県民にPRできた。

エ 課題

「子どもの読書活動に関するアンケート」（H29実施）の結果、中学生、高校生に読書離れの傾向が続いていることから、引き続き中高生を対象にした取組を実施するとともに、乳幼児期から発達段階に応じた啓発を行うことで、読書習慣の形成につなげていくことが必要である。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	起債	その他
中学校トークプログラム実施事業	585	253		332

将来ビジョン
—
令和新时代創生戦略
2. 人々の絆が結びついた鳥取のまちに住む (2) 人材とつとり ①未来を拓く人づくり、②地域を支える人材の育成

政策項目
—

(概要)
ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的
中学生が、大学生、地域の大人と人生観や職業選択等について語り合うワークショップを実施し、ふるさとへの愛着と貢献意識の形成を図る。

(イ) 事業の実施状況

区分	内容			
中学校トークプログラム	・中学生・地域の大人・大学生で構成する少人数のグループが、司会が提示するテーマについて自由に話し合うプログラムを実施した。 ・プログラムの前後には中学生に対して自己肯定感や地域への愛着などに関する意識を問うアンケートを実施し、意識の変化を検証した。 ＜実施状況＞			
	実施日程	実施校・学年	実施形態	参加人数
	10月17日(土) 10:10～11:50	日野町立日野中学校 1～3年生	オンライン	99名(中学生49名、地域の大人24名、大学生26名)
	11月28日(土) 13:35～15:45	鳥取市立気高中学校 2年生	対面	125名(中学生63名、地域の大人39名、大学生23名)

※対面式は感染症対策を講じて実施
※新型コロナウイルスの影響により上記以外の6校が中止となった。

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
新型コロナウイルスの影響により実施が困難となる中、オンラインの活用など感染対策を講じて実施し、中学生の地域に対する愛着・貢献意欲を高めることができた。

ウ 成果及び効果

・生徒に対するアンケートでは、すべての項目においてプログラム実施後の肯定的回答が実施前を上回った。

＜生徒に対するアンケート結果(2校分)＞(一部抜粋)

「私には良いところがあると思う」 事前72.4% → 事後77.4%(5.0ポイント増)

「大人になるのが楽しみだ。または、働くことが楽しみだ」

事前72.3% → 事後83.7%(11.4ポイント増)

「地域をよりよくするために何をすべきか考えたいと思う」

事前71.4% → 事後82.7%(11.3ポイント増)

・地域の方、大学生についてはアンケートに回答したほとんどの方がプログラムを「良かった」「また参加したい」と評価した。(地域の大人96.8%、大学生98.0%)。

・地域の方にとって普段接する機会の少ない中学生と話すことで学校や生徒に対する関心を高める機会となるとともに、大学生も含め相互の学びにつながった。

エ 課題

・子どもたちのふるさとへの愛着や貢献意識の向上等を図るため、コロナ禍においても実施可能な取組を検討する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	起債	その他
地域学校協働活動推進事業	33,432	15,941		17,491

将来ビジョン
6【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む (1) 地域や職場との連携などにより、安心して子育てできる環境が進展 (3) 子どもたちの地域への愛着と誇りが醸成

令和新时代創生戦略
2. 人々の絆が結びついた鳥取のまちに住む (2) 人材とつとり ②地域を支える人材の育成

政策項目

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

地域の教育力の低下や学校課題の複雑化・困難化の解決を目指すとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校が連携・協働し、未来を担う子どもたちを地域全体で育てるために、コミュニケーション・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。

※コミュニケーション・スクール：学校運営協議会制度又は学校運営協議会が導入された学校のこと。CSと略される。

※学校運営協議会制度：保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することにより、学校と地域が一体となって、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を実現するための仕組み。

※学校運営協議会：学校長や地域の方等で構成され、学校運営方針や運営に必要な支援、地域学校協働活動等について協議すること。平成29年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育委員会に設置の努力義務が課せられた。

※地域学校協働活動：地域住民、保護者、PIA、NPO、民間企業等の幅広い方の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。

(イ) 事業の実施状況

区分	内容
普及啓発	<p>○「令和2年度鳥取県コミュニケーション・スクール推進研修会」兼「令和2年度地域学校協働活動研修会」 コミュニケーション・スクールと地域学校協働活動の一体性推進の在り方について、県内の取組の現状と課題に対する専門家の助言を通して、理解を深める研修を開催した。</p> <p>・開催日：令和2年11月16日(月)</p> <p>・会場：米子市淀江文化センター(さなめホール)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、観客を入れない形式で開催し、後日研修会の様子を記録したDVDを配付した。</p> <p>・内容：事例発表</p> <p>発表者：鳥取市立湖南学園学校運営協議会会長 宇田川和人 氏 鳥取市立湖南学園校長 河上照雄 氏 鳥取市地域学校協働活動推進員 山田康子 氏</p> <p>公開相談会 相談者①：倉吉市教育委員会 相談者②：日野町教育委員会</p> <p>相談役：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 地域学校協働推進係係長 神田橋芳幸 氏 文部科学省CSSライスター 四柳千夏子 氏 (社)みたかSCサポートネット代表理事 師橋千晴 氏 進行役：前伯耆町教育委員会教育長 後藤 弥 氏</p> <p>○パンフレットの作成 コミュニケーション・スクールと地域学校協働活動の一体性推進に係る啓発パンフレットを作成、配布した。</p> <p>・作成部数 2,500部 ・配布先 県内全公立学校・公民館、市町村教育委員会事務局</p>

人材の育成

	<p>○放課後児童クラブ・放課後子供教室安全管理研修会 放課後児童クラブ及び放課後子供教室関係者の安全管理に関する知識や技能を高めるための研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年7月7日（火）から17日（金）まで 実施方法：新型コロナウイルスの影響により、動画配信により研修を実施。 視聴者数：581人 内容：「発達障がい」の特性と特性が気になる子どもへの支援のコツ」 講師：『「エール」発達障がい者支援センター 保長 奥田公直 氏 <p>○放課後児童クラブ・放課後子供教室指導者等研修会 放課後児童クラブ・放課後子供教室等の指導者等に対して専門的な知識と指導技術の習得のための研修を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年10月27日（火）、30日（金） 会場：琴浦町生涯学習センター「まなびひろうんとうはく」 内容：講演①：「新型コロナウイルスの感染対策～根拠を知って対応しよう～」 講師：鳥取看護大学教授 荒川清枝 氏 講演②：「子供の安全を守るための取組」 講師：鳥取県警察本部生活安全部生活安全企画課 参加者 100名 <p>○鳥取県子どもの学びの環境等生活困難者対策に係る研修会 子どもの貧困対策の一つでもある地域未来塾等の学習支援の取組の効果と、貧困の連鎖を断ち切るために必要な力を育むための実践と成果について知り、関係者の資質向上及び今後の取組の充実を図った ※地域未来塾：中学生等を対象に地域住民（退職教員や大学生等）の協力により実施する学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和3年2月18日（木） 開催方法：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システムにより研修を実施。 参加者数：39人 内容：講演：「子どもの声を聞き、寄り添う」 講師：NPO法人山科醍醐こどもひろば理事長 村井 琢哉 氏 <p>市町村支援 国庫補助（学校を核とした地域力強化プログラム事業）を活用した市町村への財政支援（市町村事業費の2/3）を行った。 ・補助金活用市町村数 17市町村1学校組合 ・補助対象事業：CS・地域学校協働活動運営委員会、学校の働き方改革を踏まえた活動、学習支援活動及び体験活動等</p>
--	--

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

新型コロナウイルス感染症防止対策として、対面の機会を減らし、ICTを活用することで研修会を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・コロナ禍でも研修会の実施方法を動画配信やオンライン形式、DVD配布に替えるなど工夫したことで、多くの人への情報提供や事例の共有を図ることができた。
- ・作成したコミュニケーション・スクールと地域学校協働活動の一體的推進に係るパンフレットを用いて、事業説明を行うことにより取組の一層の理解と推進を図ることができた。
- ・学校支援ボランティア登録数：7,577人（小学校：6,366人、中学校：1,211人）
- ・地域学校協働本部を設置している公立学校の割合：52.7%（前年度：42.3%）
- ・コミュニケーション・スクールを導入している公立学校の割合：56.1%（前年度：47.6%）

エ 課題

- ・コミュニケーション・スクールの未導入市町村、県立学校へは、導入の必要性について市町村教育委員会や学校への理解促進を図り、導入を支援していく必要がある。
- ・既にコミュニケーション・スクールを導入した市町村（学校）でも、学校運営協議会や社会教育の場で取り組まれている地域学校協働活動において、学校と地域のビジョンの共有や連携・協働への理解を深め、取組の継続・充実のための支援を実施していく必要がある。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損 額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当 額	計					
歳 入	教育使用料	611,000	0	0	611,000	180,320	180,320	0	0	
	行政財産使用料	111,000	0	0	111,000	108,050	108,050	0	0	
	教育費国庫補助金	28,780,000	△ 5,815,000	0	22,965,000	19,091,495	19,091,495	0	0	
	雑入	9,000	0	0	9,000	191,531	191,531	0	0	
	教育債	161,000,000	0	0	161,000,000	103,000,000	103,000,000	0	0	
	合 計	190,511,000	△ 5,815,000	0	184,696,000	122,571,396	122,571,396	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				計 A	支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費 及び 繰越 事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減			本 庁	出納機関			
歳 出	教育 連絡 調整 費	59,348,000	△10,471,000	0	0	48,877,000	39,673,744	39,487,328	186,416	0	9,203,256	
	社会 教育 総務 費	20,664,000	△2,764,000	0	△1,161,000	16,739,000	11,648,716	11,012,949	635,767	0	5,090,284	
	青 少 年 社 会 教 育 施 設 費	87,017,000	△1,031,000	0	14,871,000	100,857,000	93,026,389	90,659,189	2,367,200	0	7,830,611	
	生涯 学習 セン ター 費	251,426,000	0	0	△13,710,000	237,716,000	194,617,760	96,711,660	97,906,100	9,712,040	33,386,200	
	合計	418,455,000	△14,266,000	0	0	404,189,000	338,966,609	237,871,126	101,095,483	9,712,040	55,510,351	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等																					
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						計 A																				
(目 名) 教育連絡調整費																														
(主) 地域 学校協働活 動推進事業	48,616,000	△7,495,000	0	0	41,121,000	33,432,006	0	7,688,994	73.7	主な事業に関する調べのと おり																				
とっとりふ れあい家庭 教育応援事 業	8,817,000	△2,839,000	0	0	5,978,000	4,776,694	0	1,201,306	79.9	<p>家庭の教育力の向上を図るため、身近な地域において家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の設置促進、市町村担当者や家庭教育支援員等への学習機会の提供、相談体制の充実等きめ細かな支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく人材育成・基盤形成を推進した。また、乳幼児の保護者向け啓発パンフレットを県幼児教育センターと共同で作成し、関係機関へ配布した。</p> <p><家庭教育を支援する人材の育成></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会</th> <th>期日</th> <th>講師</th> <th>受講人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて</td> <td>令和2年7月28日</td> <td>文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課家庭教育支援室 室長 唐沢裕之氏</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>第2回 保護者へのかかわり・支援方法等</td> <td>令和2年9月16日</td> <td>臨床心理士 小林幹子氏 県福祉相談センター所長 川本由美子氏</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td>第3回 地域人材を活かした子育て・家庭教育支援</td> <td>令和2年10月19日</td> <td>TottoriMama's 代表 中井みずほ氏 米子市家庭教育支援チーム「とことこ・タムタム」</td> <td>58名</td> </tr> <tr> <td>第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて</td> <td>令和2年11月26日</td> <td>山口県教育庁地域連携教育室 主査 青木厚治氏 社会教育主事 岡嶋邦彦氏</td> <td>47名</td> </tr> </tbody> </table> <p><家庭教育に関する学習機会の提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とっとり子育て親育ちプログラム」：ファシリテータ5名を6ヶ所へ派遣 ・家庭教育支援アドバイザー派遣：アドバイザー3名を5ヶ所へ派遣 ・啓発パンフレットの配布：作成枚数 33,000部、配布先：市町村保健センター、幼児教育・保育施設、市町村保育担当課、市町村教育委員会 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県家庭教育推進協力企業：834社（令和3年3月現在） <p>※鳥取県家庭教育推進協力企業：保護者である従業員が子育てしやすく、また、子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりに自主的に取り組む企業として、鳥取県教育委員会と協定を結んだ企業</p>	研修会	期日	講師	受講人数	第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて	令和2年7月28日	文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課家庭教育支援室 室長 唐沢裕之氏	51名	第2回 保護者へのかかわり・支援方法等	令和2年9月16日	臨床心理士 小林幹子氏 県福祉相談センター所長 川本由美子氏	45名	第3回 地域人材を活かした子育て・家庭教育支援	令和2年10月19日	TottoriMama's 代表 中井みずほ氏 米子市家庭教育支援チーム「とことこ・タムタム」	58名	第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて	令和2年11月26日	山口県教育庁地域連携教育室 主査 青木厚治氏 社会教育主事 岡嶋邦彦氏	47名
研修会	期日	講師	受講人数																											
第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて	令和2年7月28日	文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課家庭教育支援室 室長 唐沢裕之氏	51名																											
第2回 保護者へのかかわり・支援方法等	令和2年9月16日	臨床心理士 小林幹子氏 県福祉相談センター所長 川本由美子氏	45名																											
第3回 地域人材を活かした子育て・家庭教育支援	令和2年10月19日	TottoriMama's 代表 中井みずほ氏 米子市家庭教育支援チーム「とことこ・タムタム」	58名																											
第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて	令和2年11月26日	山口県教育庁地域連携教育室 主査 青木厚治氏 社会教育主事 岡嶋邦彦氏	47名																											

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等									
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減						計 A								
社会教育関係団体による地域づくり支援事業	1,915,000	△137,000	0	0	1,778,000	0	312,956	82.4	青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図ることを目的に、社会教育関係団体が行う人材育成、指導者養成及び調査研究活動を助成した。 交付先：鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会									
目 計	59,348,000	△10,471,000	0	0	48,877,000	0	9,203,256	81.2										
(目名) 社会教育総務費																		
社会教育企画費	6,682,000	0	0	△921,000	5,761,000	4,268,784	0	1,492,216	74.1									
(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の開催																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>会 場</th> <th>会議の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年11月17日</td> <td>県立生涯学習センター</td> <td>・今後の社会教育の方向性について(研修) ・社会教育関係団体への補助金について ・体験活動の推進について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月27日</td> <td>鳥取県教育センター</td> <td>・鳥取市立湖南学園視察 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について ・地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業の事業計画</td> </tr> </tbody> </table>										期 日	会 場	会議の内容	令和2年11月17日	県立生涯学習センター	・今後の社会教育の方向性について(研修) ・社会教育関係団体への補助金について ・体験活動の推進について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について	令和3年1月27日	鳥取県教育センター	・鳥取市立湖南学園視察 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について ・地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業の事業計画
期 日	会 場	会議の内容																
令和2年11月17日	県立生涯学習センター	・今後の社会教育の方向性について(研修) ・社会教育関係団体への補助金について ・体験活動の推進について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について																
令和3年1月27日	鳥取県教育センター	・鳥取市立湖南学園視察 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について ・地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業の事業計画																
(2) 各種研修派遣 第43回中国・四国地区社会教育研究大会愛媛大会及び第62回全国社会教育研究大会新潟大会へ派遣予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。																		
(流用△921,000円のうち、△204,000円は船上山少年自然の家運営費へ、△717,000円は大山青年の家運営費へ流用)																		

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等															
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減						計 A														
(主) インターネットとの適切な 接し方教育啓発推 進事業	4,675,000	△673,000	0	104,000	4,106,000	3,638,569	0	467,431	88.6	<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>(流用104,000円は、本の大好きな子どもを育てるプロジェクトより流用)</p>														
県市町村社会教育振興事業	2,322,000	△739,000	0	△110,000	1,473,000	982,443	0	490,557	66.7	<p>地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、市町村、公民館等の社会教育関係者等を対象とした各種研修会を実施した。</p> <p>(1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実施</p> <p>(2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成</p> <p>(3) 社会教育主事養成講座の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>会場</th> <th>内容</th> <th>受講人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年1月21日～2月18日(木) (期間中20日間実施)</td> <td>琴浦町生涯学習センター</td> <td>生涯学習概論他(オンラインと集合型演習を組み合わせ実施)</td> <td>19名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 鳥取県地域コーディネーター養成講座 新型コロナウイルスの影響により、4回シリーズの養成講座を中止し、代替講座として地域コーディネータートライアル講座を1回開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>内容</th> <th>受講人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年1月19日(火)</td> <td>地域コーディネーターの人材育成(オンライン開催)</td> <td>73名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(流用△110,000円は、大山青年の家運営費へ流用) (不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により、地域コーディネーター養成講座が中止になったこと等による。</p>	期日	会場	内容	受講人数	令和3年1月21日～2月18日(木) (期間中20日間実施)	琴浦町生涯学習センター	生涯学習概論他(オンラインと集合型演習を組み合わせ実施)	19名	期日	内容	受講人数	令和3年1月19日(火)	地域コーディネーターの人材育成(オンライン開催)	73名
期日	会場	内容	受講人数																					
令和3年1月21日～2月18日(木) (期間中20日間実施)	琴浦町生涯学習センター	生涯学習概論他(オンラインと集合型演習を組み合わせ実施)	19名																					
期日	内容	受講人数																						
令和3年1月19日(火)	地域コーディネーターの人材育成(オンライン開催)	73名																						
社会教育関係団体等による地域づくり支援事業	2,765,000	△1,352,000	0	0	1,413,000	670,276	0	742,724	47.4	<p>青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図ることを目的に、社会教育関係団体が行う人材育成、指導者養成及び調査研究活動を助成した。</p> <p>交付先：県連合青年団、ガールスカウト鳥取県連盟、日本ボーイスカウト鳥取連盟、県子ども会育成連絡協議会、県連合婦人会</p> <p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により補助団体の事業が不執行となったため。</p>														

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等											
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰 越事業費繰越 額	予 備 費 支出及び 流用増減						計 A										
とっとり県 民カレッジ 事業	726,000	0	0	△10,000	716,000	595,700	0	120,300	83.2	<p>市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会を提供した。</p> <p>(1) とっとり県民カレッジ講座 (市町村連携)</p> <p>① 通常講座 1回実施、開催テーマ：サードプレイス、受講者数：120人 ※サードプレイス：カフェや図書館など、自宅や職場とは隔離された心地のよい第3の居場所。</p> <p>② 特別講座 (県内大学と連携実施) 5回実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学 (2回、ライブ配信あり)</td> <td>104人</td> </tr> <tr> <td>公立鳥取環境大学 (2回、うち1回は動画配信)</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>米子高専 (1回)</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>157人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 連携講座 94機関 1,667講座</p> <p>(流用△10,000円は、大山青年の家運営費へ流用)</p>	大学名	受講者数	鳥取大学 (2回、ライブ配信あり)	104人	公立鳥取環境大学 (2回、うち1回は動画配信)	28人	米子高専 (1回)	25人	計	157人
大学名	受講者数																			
鳥取大学 (2回、ライブ配信あり)	104人																			
公立鳥取環境大学 (2回、うち1回は動画配信)	28人																			
米子高専 (1回)	25人																			
計	157人																			
(主) 本の好きな子どもを 育てるプロ ジェクト	1,458,000	0	0	△224,000	1,234,000	866,699	0	367,301	70.2	<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>(流用△224,000円のうち、△104,000円はインターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業へ、△120,000円は大山青年の家運営費へ流用)</p>										
(主) 中学校トー クプログラ ム事業	1,584,000	0	0	0	1,584,000	585,089	0	998,911	36.9	<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により、本プログラムの実施を中止した学校もあり、予定よりも実施回数が少なかったため。</p>										

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減						計 A
児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	452,000	0	0	0	452,000	41,156	0	410,844	9.1	<p>児童養護施設等を対象とした自然体験活動を行った。</p> <p>(1) 自然体験活動の実施 参加施設：4施設（同一施設内の各ホームごとに1施設として取り扱った） ※新型コロナウイルスの影響により左記以外の8施設が中止 参加人数：合計67人（子ども35人、保護者6人、職員26人） 実施場所：船上山少年自然の家、大山青年の家、空山ポニー牧場、氷ノ山自然ふれあい館響の森 実施内容：県立施設等の指導員の指導・助言により、日帰りあるいは出前活動で自然体験活動を行った。（主な活動内容）ポニー教室、自然散策、クラフト、野外炊事 等</p> <p>(2) 報告会の実施 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により予定していた事業の大半が中止となったため。</p>
目 計	20,664,000	△2,764,000	0	△1,161,000	16,739,000	11,648,716	0	5,090,284	71.1	
(目名) 青少年社会教育施設費										
船上山少年自然の家運営費	42,501,000	0	0	4,040,000	46,541,000	43,932,073	0	2,608,927	94.4	<p>船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・指定管理者 (H31～R5) TKSS・富士総合警備保障共同企業体 ・管理委託費 42,322,891円</p> <p>(1) 年間受入者数 日帰り5,057人 宿泊1,681人 計6,738人 (2) その他施設修繕等 (3) 主催事業の実施 新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた21事業のうち9事業が中止となったが、家族等少人数を対象とした代替事業等を実施した。 主催事業の実施状況：ちっちゃい体験隊、親子でリフレッシュ等17事業 参加者数：651人(左記は(1)の内数)</p> <p>(流用4,040,000円のうち、3,836,000円は生涯学習センター運営費より、204,000円は社会教育企画費より流用)</p>

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減						計 A
大山青年の 家運営費	43,396,000	0	0	10,795,030	54,191,030	48,969,346	0	5,221,684	90.4	<p>大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・指定管理者（H31～R5）（公財）鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 43,561,786円</p> <p>（1）年間受入者数 日帰り12,395人 宿泊3,855人 計16,250人</p> <p>（2）その他施設修繕等</p> <p>（3）主催事業等の実施</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた20事業のうち8事業が中止となったが、家族等少人数を対象とした代替事業等を実施した。</p> <p>主催事業の実施状況：グレートトラバースin大山、自然はぼくらの遊び場だ等17事業 参加者数：1,814人（左記は（1）の内数）</p> <p>（流用10,795,030円のうち、9,874,000円は生涯学習センター運営費より、717,000円は社会教育企画費より、110,000円は県市町村社会教育振興事業より、120,000円は本の大好きな子どもを育てるプロジェクト事業より、10,000円は県民カレッジ事業より流用、35,970円は鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業へ流用）</p>
鳥取県の美 しい星空環 境を活かし た体験活動 等推進事業	1,120,000	△1,031,000	0	35,970	124,970	124,970	0	0	100.0	<p>鳥取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会を実施し、星空環境を活用した教育の機会を提供した。船上山少年自然の家、大山青年の家の各指定管理者に委託。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの影響により、例年実施している移動式プラネタリウムを使用しての活動は中止した。</p> <p>（1）学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業：6事業（船上山少年自然の家 1事業・24人、大山青年の家 5事業・179人） 受入団体：1団体（大山青年の家 1団体・47人）</p> <p>（2）移動式プラネタリウム実施事業 令和2年度は中止</p> <p>（流用35,970円は、大山青年の家運営費より流用）</p>
目 計	87,017,000	△1,031,000	0	14,871,000	100,857,000	93,026,389	0	7,830,611	92.2	

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減						計 A
(目名) 生涯学習センター										
生涯学習センター運営費	251,426,000	0	0	△13,710,000	237,716,000	194,617,760	9,712,040	33,386,200	81.9	
	<p>生涯学習センターの管理運営を指定管理者により行った。</p> <p>・指定管理者 (H31～R5) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 92,520,000円</p> <p>(1) 入館者数 36,648人</p> <p>(2) 施設修繕等 特定天井工事耐震対策工事の実施</p> <p>(3) 主催事業 前記とっとり県民カレッジ事業に記載のとおり</p> <p>(流用△13,710,000円のうち、3,836,000円は船上山少年自然の家運営費へ、9,874,000円は大山青年の家運営費へ流用)</p> <p>(不用額が予算現額の1千万円以上となった理由)</p> <p>執行残の主なもの特定天井耐震対策工事に係る委託料及び工事請負費であり、予算要求時の積算よりも契約額が大幅に減額されたため。</p>									
目 計	251,426,000	0	0	△13,710,000	237,716,000	194,617,760	9,712,040	33,386,200	81.9	
合 計	418,455,000	0	0	△14,266,000	404,189,000	338,966,609	9,712,040	55,510,351	83.9	

8 予備費の充用調べ
該当無し

9 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ
該当無し

(2) 繰越明許費調べ

(単位：円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				繰越理由	
				既収入特定財源		未収入特定財源			一般財源
						地方債			
生涯学習センター費	生涯学習センター運営費(特定天井耐震対策工事)	158,906,000	9,712,040			9,000,000		712,040	既設天井材の現場調査にて、補強が必要な箇所が多数判明し、補強方法の検討及び施工に日数を要し当初予定の出来高に達しなかったため。
合計		158,906,000	9,712,040			9,000,000		712,040	

(3) 事故繰越調べ
該当無し

10 収入証紙取扱額調べ
有・**無**

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況
該当無し

(2) つり銭の状況
該当無し

12 財産に関する調べ
 (1)公有財産
 ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	(内訳)				増加	R				R	0.00	0	
					減少	R				R			
計			99,830.41	45,739,686			0	0			99,830.41	45,739,686	
普通財産	(内訳)				増加	R				R	0.00	0	
					減少	R				R			
計			0.00	0			0	0			0.00	0	
合計			99,830.41	45,739,686			0	0			99,830.41	45,739,686	

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	(内訳) 鳥取県立生涯学習センター	鳥取市扇町21番地	4,957.38	985,695,493	増加	R2.9.14	47.68		引継	R	4,957.38	985,695,493	教育総務課から引受 人権・同和対策課へ所属換
					減少	R2.9.16	△49.36		所属換	R			
計			12,584.92	1,945,078,261			△1.68	0			12,584.92	1,945,078,261	
普通財産					増加	R				R	0.00	0	
					減少	R				R			
計			0.00	0			0	0			0.00	0	
合計			12,584.92	1,945,078,261			△1.68	0			12,584.92	1,945,078,261	

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却等
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権
該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
94枚	0枚	4枚 5170円	90枚

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

(令和3年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
			増		減				
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	
行政財産使用料	円 33,340	5	12,000	1	15,050	0	30,290	6	
							0	0	
							0	0	
合計	33,340	5	12,000	1	15,050	0	30,290	6	

13 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	携帯電話無線基地局の新設	西伯郡大山町赤松明間原312-1 (県立大山青年の家)	電柱1本	R3.3.22	R3.3.22	R3.4.1 ~ R8.3.31	月額・年額 870	0	東京都港区海岸一丁目7番1号 ソフトバンク株式会社 代表取締役社長執行役員兼CEO	
計								0		
普通財産										
計										
合計								0		

イ 建物
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
綴帳	1	フック刺しゅう巾14.8m× 高さ5.5m	H31.4.1 ～ R6.3.31	無償	無償	鳥取市扇町21番地 (公財)鳥取県教育文化財団理事 長	生涯学習センター	施設の管理運営に供 するため	
グランドピアノ	1	ヤマハCF	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
デジタル印刷機	1	リソグラフ RZ670	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
キセノンピンスポットライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL-1003SR/e	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用デジタルミキ サー	1	ヤマハCL-3、ヤマハRio 3224-D	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用音響機器	1	BOSE社 RM5520, RM7060, LT 9403 DS16SB, 802-3SG, 62 0M JBL:LSR305	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール吊幕(諸幕)	1	(株)ナカヤマ 貫八綾別 珍・防災品	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ポーターライト	1	150Wハロゲン×63灯 上下・中区分=12.6m	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
除雪機	1	フジイSD1123DK2	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	大山青年の家	"	
絵画	1	油絵60号額縁付き「漂流」	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
公用車	1	セレナ AT 4WD	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
食器洗浄機	1	(株)マルゼン 本体1台 MDDGBBE R、専用作業用クリーンテーブル2台及 びステンレスフード1台は仕様書のと おり	R2.9.24 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
エルネット受信システム	1	TA-CSH575S.TD- MD100G.D-5100-06	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	米子市米原8-11-49 TKSS 富士総合警備保障共同企業体 (株)TKSS代表取締役	船上山少年自 然の家	"	
公用車	1	パジェロ 三菱LA- V73WLRUVQ	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
食器洗浄機	1	PA-13A2	H31.4.1 ～ R3.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	日本画(船上山北壁)F30号	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
合計					-				

14 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況				借受先 住所名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-2	26.647	有	S51.5.18~存続中	月額-年額	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で 契約締結
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-11	299	有	S51.5.18~存続中	月額-年額	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	〃
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-4	214	有	H2.4.27~存続中	月額-年額	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	〃
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-12~14	751	有	H2.4.27~存続中	月額-年額	無償	東伯郡琴浦町赤碓1142-3 琴浦町 琴浦町長	〃
合計								0		

15 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積		貸付(使用)料(月額)
		(㎡)	(円)	(円)
行政財産	鳥取県西伯郡大山町赤松明間原312番地1	12.5		1000
普通財産				

(2) 減免の考え方

公有財産事務取扱要領第11の4の4(通勤手段として勤務先官公署への交通機関が確保できない場合に該当するときに減免。
(深夜・早朝の業務に従事する職員は公共交通機関の利用ができないため。)

(3) 使用料の見直し

該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

17 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考	
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額		処 分 費 用
AED(自動体外式除細動器) フィリップスエレクトロニクス ジャパン ハートスタートHS 1	平成26年1月10日	令和2年5月29日	棄却	使用期限切れ	令和2年5月25日	円 0	円	
食器洗浄機 フジマックFDW60B	平成14年7月17日	令和2年5月29日	棄却	耐用年数超過によ り更新したため	令和2年7月13日	円 0	円	
テレビ ソニーKV-29HX1	平成6年4月1日	令和2年9月23日	棄却	修理不能		円 0	円	指定管理 者による処 分
AED(自動体外式除細動器) フクダ電子 ハートス タートHS1	平成25年9月26日	令和2年9月23日	棄却	使用期限切れ	令和2年9月8日	円 0	円	
基地局無線機5W他 EF-3221AM	平成14年7月31日	令和2年10月23日	棄却	耐用年数超過によ り更新したため	令和2年9月30日	円 0	円	
自動体外式除細動器(AE D)及び小児用パッド フィリップスエレクトロニクス ジャパン ハートスタートH S-1	平成26年3月12日	令和3年2月3日	棄却	使用期限切れ	令和3年1月19日	円 0	円	

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 無

(2) 物品確認の実施状況

有 無

19 貸付金等状況調べ

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし